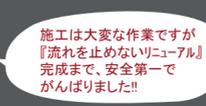
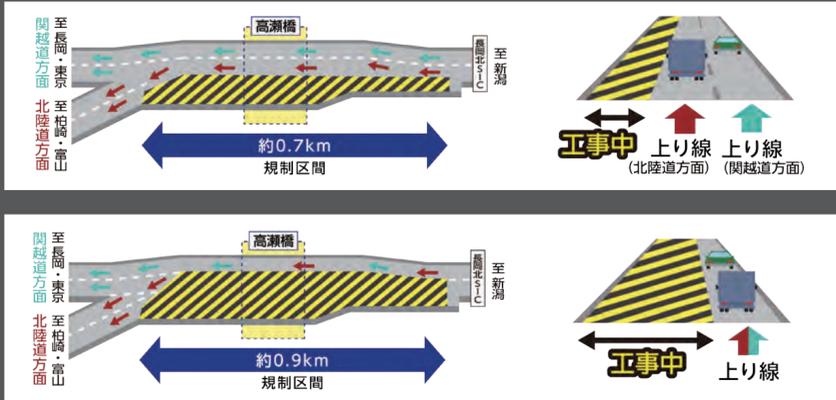


流れを止めないリニューアルとは

幅員3分割による床版取替え

1 床版取替えは工事に伴う交通への影響を最小限にするため、幅員を3分割して上り線のみで取替えを行いました。朝などの交通量が多い時間帯は2車線の通行を可能とし、交通量が少なくなる時間帯は1車線を通行帯とし、取替えを行いました。



施工は大変な作業ですが『流れを止めないリニューアル』完成まで、安全第一でがんばりました!!

移動式防護柵による車線切替え

2 頻繁な車線切替え作業は移動式防護柵(ロードジッパーシステム)を用い、安全かつ迅速に行いました。



ロードジッパーシステム(Road Zipper System)とは・・・LINDSAY(アメリカ)のシステムで、コンクリート製防護柵の設置位置を、専用の防護柵切り替え車両で移動させることができるシステム。

渋滞監視・広報情報提供

3 集中工事期間中(平成30年8月20日～平成30年11月16日)は、簡易情報板(LED)・トラフィックカウンター・監視カメラを設置し、工事情報の提供と交通量の監視を行いました。



発注者	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所
受注者	エム・エムブリッジ株式会社
契約工期	2018.4.13～2019.12.03(契約時)
工事場所	北陸自動車道 新潟県柏崎市西山町坂田～新潟県長岡市灰島新田 関越自動車道 新潟県長岡市上除町

エム・エムブリッジ株式会社 広島本社
TEL 082-292-1111

発行日 2019年5月
発行者 エム・エムブリッジ株式会社
デザイン ノットデザインスタジオ

Takase bridge renewal project

北陸自動車道 高瀬橋床版取替工事

流れを止めないリニューアル

エム・エムブリッジ株式会社



高速道路リニューアルプロジェクト

高速道路リニューアルプロジェクト(大規模更新・修繕事業)とは、高速道路の本体構造物のライフサイクルコスト(役目を終えるまでにかかる全ての費用)の最小化、予防保全(損傷や不具合が生じる前に行う保全方法)や性能向上の観点から必要な対策を行うことで、高速道路ネットワーク機能を長期にわたって健全に保つための事業です。(NEXCO東日本のHPより引用)

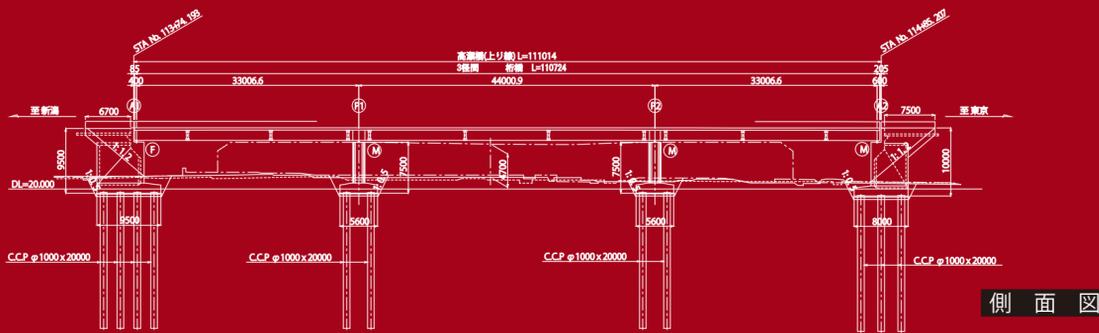
本工事では、ひび割れや剥離などが進行した鉄筋コンクリート床版を、より耐久性の高いプレキャストPC床版に取り替えました。通常は通行止めによる施工となりますが、工事による渋滞などの影響を最小限に抑えるため、床版を3分割し、車線規制による運用で工事を行いました。

長年培ってきた高度な技術と経験を活かし、丁寧に工事を進めました。

2台の70t吊ラフタークレーンによって、2班体制で支間中央から端部に向かって床版取替えを行い、工程の短縮を図りました。

北陸自動車道 高瀬橋床版取替工事

流れを止めないリニューアル



Takase bridge renewal project

